

事業評価結果(課・室)総括表

事業年度 令和8年度

部局名 エネルギー環境部

所属名 循環社会推進課

(単位:千円)

事業名	福井県長期ビジョン における位置づけ	経費 区分	事業 開始 年度	事業 終了 年度	予算額	決算額	財源内訳			評価区分
							国庫	その他 特定 財源	一般	
⑪産業廃棄物資源循環推進事業	15 豊かで美しいふくい環境の継承	政策的経費	令和8年度	令和12年度	3,097	—		3,097		—
⑫優良産業廃棄物処理業者育成支援事業	15 豊かで美しいふくい環境の継承	政策的経費	令和8年度	令和12年度	2,036	—		2,036		—
⑬産業廃棄物処理業イメージアップ・業務効率化支援事業	15 豊かで美しいふくい環境の継承	政策的経費	令和8年度	令和12年度	2,889	—			2,889	—
ごみ減量化・リサイクル推進事業	15 豊かで美しいふくい環境の継承	政策的経費	令和3年度	令和12年度	154				154	縮減
廃棄物処理計画改定事業	15 豊かで美しいふくい環境の継承	政策的経費	令和7年度	令和8年度	554	—			554	縮減
⑭リユース・リペア推進事業	15 豊かで美しいふくい環境の継承	政策的経費	令和8年度	令和12年度	1,346	—	968		378	—
⑮食品ロス削減推進事業	15 豊かで美しいふくい環境の継承	政策的経費	平成18年度	令和12年度	2,913	—	1,456		1,457	拡充
⑯ごみ減量化の「自分ごと化」推進事業	15 豊かで美しいふくい環境の継承	政策的経費	令和8年度	令和12年度	9,119	—	6,839		2,280	—
⑰雑がみリサイクル推進事業	15 豊かで美しいふくい環境の継承	政策的経費	令和8年度	令和12年度	1,138	—	853		285	—
産業廃棄物減量化・適正処理推進事業	15 豊かで美しいふくい環境の継承	政策的経費	平成27年度	令和7年度		—				完了
廃棄物・リサイクル産業育成支援事業	15 豊かで美しいふくい環境の継承	政策的経費	平成30年度	令和7年度		—				完了
ごみ減量に向けた「3切り」「分別」推進事業	15 豊かで美しいふくい環境の継承	政策的経費	令和6年度	令和7年度		—				完了
プラスチックごみ削減対策事業	15 豊かで美しいふくい環境の継承	政策的経費	令和元年度	令和7年度		—				完了
					23,246		10,116	5,133	7,997	

		エネルギー環境部	循環社会推進課（エネ部）	事業年度	令和 8年度
4 住みやすさを高める（地域力）				経費区分	政策的経費
15 豊かで美しいふくいの環境の継承				事業開始年度	令和8年度
⑧ 産業廃棄物資源循環推進事業				事業終了年度	令和12年度
事業目的	資源循環を促進し産業廃棄物の最終処分量を減少させるため、排出事業者における再資源化や減量化に関する取組みを促進するとともに、排出事業者と産業廃棄物処理業者との動静脈連携を強化する。				
事業内容	(1) 再資源化や減量化に関する優良事例の収集 多量排出事業者、産業廃棄物処理業者への個別訪問を通じた優良事例収集 (2) 再資源化・減量化に関するアドバイザー派遣 中小規模排出事業者、多量排出事業者にアドバイザー派遣 (3) 産業資源循環・動静脈連携推進セミナー等の開催 排出事業者、処理業者、国など関係者が参加するセミナーを年1回開催 専門家との相談会実施や優良処理業者に商談できるブース設置 (4) 県認定リサイクル製品の県外販路開拓の支援 使用事例を盛り込んだパンフレットを作成し、県や市町の公共工事発注期間や民間事業者に広くPR				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	3,097	—		3,097	
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	産業廃棄物の最終処分量 (t)	59,000	-	令和12年度
	活動指標	アドバイザー派遣事業者数 (社)	4	-	令和8年度
事業評価	・産業廃棄物の最終処分量は5年に1度実施する産業廃棄物実態調査により把握 ・令和10年度の実績について、令和12年度に公表予定 ・成果指標は、福井県廃棄物処理計画策定検討会において、令和12年度の目標値とされたもの。				
区分	—				

		エネルギー環境部	循環社会推進課（エネ部）	事業年度	令和 8年度
4 住みやすさを高める（地域力）				経費区分	政策的経費
15 豊かで美しいふくいの環境の継承				事業開始年度	令和8年度
⑧ 優良産業廃棄物処理業者育成支援事業				事業終了年度	令和12年度
事業目的	排出事業者と産業廃棄物処理業者との動静脈連携の強化、再資源化の底上げや高度化を図るため、産業廃棄物処理業者（静脈側）の優良化を推進する。				
事業内容	(1) 優良処理業者の認定要件エコアクション21等の取得を支援 (2) エコアクション21等の取得に関するセミナーや優良処理業者の技術向上等に関する研修会などへの参加費用、または自ら開催する場合の経費を支援				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	2,036	—		2,036	
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	新規優良認定事業者（見込）数（社）	4	-	令和8年度
	活動指標	優良認定の検討を促す産業廃棄物処分業者数（社）	128	-	令和8年度
事業評価	・成果指標について、令和12年度までに新規優良認定事業者数20社を目指す。				
区分	—				

		エネルギー環境部	循環社会推進課（エネ部）	事業年度	令和 8年度
4 住みやすさを高める（地域力）				経費区分	政策的経費
15 豊かで美しいふくいの環境の継承				事業開始年度	令和8年度
⑧ 産業廃棄物処理業イメージアップ・業務効率化支援事業				事業終了年度	令和12年度
事業目的	将来にわたり産業廃棄物を安定して処理できる体制を確保するため、産業廃棄物処理業者が実施するイメージアップや人材確保、業務効率化に関する取組みを支援する。				
事業内容	(1) イメージアップや人材確保に関する取組みを支援 会社説明会の実施、パンフレットやPR動画の作成、SNSを活用した広報などを支援 (2) 電子manifestoの導入に要する経費を支援 紙manifestoに比べ事務処理を効率化できる電子manifesto導入にかかるパソコン購入費、新規加入費用を支援				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	2,889	—			2,889
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	新たな人材確保に取り組んだ処分業者数（社）	5	—	令和8年度
	活動指標	イメージアップ、人材確保に関する支援補助件数（件）	135	—	令和8年度
事業評価					
区分	—				

		エネルギー環境部	循環社会推進課（エネ部）	事業年度	令和 8年度
4 住みやすさを高める（地域力）				経費区分	政策的経費
15 豊かで美しいふくいの環境の継承				事業開始年度	令和3年度
ごみ減量化・リサイクル推進事業				事業終了年度	令和12年度
事業目的	市町と協働したごみ減量化の取組み強化や、ものを大切に使い続ける社会づくりを進めることにより、一般廃棄物の減量化を推進する。				
事業内容	市町のごみ減量化の取組み推進 ごみ減量化推進会議の開催				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	154				154
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	1人1日当たりごみ排出量 (g)	858	-	令和7年度
	活動指標	ごみ減量化推進会議の開催	1	1	令和7年度
事業評価	令和7年度の目標（廃棄物処理計画（計画期間：R3～7）で設定）858gに対し、令和5年度実績で830gと、目標より好成績であり、廃棄物の減量化に資することができた。 ※令和7年度実績は令和9年度に公表 <事業実績> ・ごみ減量化推進会議の開催（5月） ・お直しリメイク講座2回、おもちゃドクター養成講座1回を実施				
区分	縮減				

		エネルギー環境部	循環社会推進課（エネ部）	事業年度	令和 8年度
4 住みやすさを高める（地域力）				経費区分	政策的経費
15 豊かで美しいふくいの環境の継承				事業開始年度	令和7年度
廃棄物処理計画改定事業				事業終了年度	令和8年度
事業目的	廃棄物の処理及び清掃に関する法律第5条の5に基づき、令和8年度以降の廃棄物の減量および適正な処理に関し同計画を改定する。				
事業内容	廃棄物処理計画検討委員会の開催 検討内容 県内廃棄物処理の現状と将来見込 廃棄物の減量化目標とその達成に必要な施策展開 廃棄物不適正処理防止策と監視指導体制 等				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	554				554
事業評価指標		内 容	目標	実績	備考
	成果指標	廃棄物処理計画改訂（回）	1	1	令和7年度
	活動指標	廃棄物処理計画委員会の開催（回）	5	4	令和7年度
事業評価	委員会開催により、廃棄物処理計画の改定に必要な議論ができ、改定に資することができた。 <事業実績> ・廃棄物処理計画委員会開催 4回 ・廃棄物処理計画の改定 1回（R8.3改定） <事業による要因> 廃棄物処理計画委員会の開催回数について、複数の議題をまとめて議論したため、4回の開催で計画案の作成ができたもの ※取りまとめた議題：一般廃棄物に係る施策の検討、産業廃棄物に係る施策の検討				
区分	縮減				

		エネルギー環境部	循環社会推進課（エネ部）	事業年度	令和 8年度
4 住みやすさを高める（地域力）				経費区分	政策的経費
15 豊かで美しいふくいの環境の継承				事業開始年度	令和8年度
⑧ リユース・リペア推進事業				事業終了年度	令和12年度
事業目的	ごみとして捨てる前に必要とする者の手に渡る、また、修理して大切に長く使われるよう、リユース・リペアを促し、粗大ごみ、不燃ごみ等の削減を図る。				
事業内容	(1) 修理ボランティア団体に対する支援 おもちゃを修理できる人材を増やすため、修理技術を習得する講座を開催 (2) リーフレットの作成・配布 リユース業団体と連携し、県内リユースショップや「まちの修理屋さん」などの情報を紹介するリーフレットを作成・配布 (3) リユースイベント等の収集・発信 県内のフリーマーケットなどリユースイベント等の情報を収集し、県ホームページ等で発信 リユースショップやイベントの利用を促す特集記事作成およびWEB媒体への掲載 (4) 「まちの修理屋さん」情報の登録・発信 洋服、靴、家具などを修理することができる「まちの修理屋さん」を募集し、県ホームページで紹介				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	1,346	—	968		378
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	1人1日当たりごみ排出量 (g)	794	-	令和12年度
	活動指標	リユースイベント等情報発信 (回)	9	-	令和8年度
事業評価	・令和8年度実績は令和10年度に公開 ・福井県廃棄物処理計画において令和12年度の目標値として設定している。				
区分	—				

		エネルギー環境部	循環社会推進課（エネ部）	事業年度	令和 8年度
4 住みやすさを高める（地域力）				経費区分	政策的経費
15 豊かで美しいふくいの環境の継承				事業開始年度	平成18年度
⑧ 食品ロス削減推進事業				事業終了年度	令和12年度
事業目的	食品ロス削減に取り組む県民の拡大を図るとともに、事業者や家庭からの未利用食品や食べ残しを減らす仕組みを構築し、食品ロスを削減する。				
事業内容	(1) 地域で食品ロス削減の活動を広める「フードロスマイスター」の養成 食品ロスの知識普及のため、「冷蔵庫収納講座」や「食べきり・使い切りレシピ講座」の開催 (2) 未利用食品の活用推進 フードバンクおよびフードドライブの推進 (3) 「おいしいふくい食べきり運動」の推進 連合婦人会と協働した「おいしいふくい食べきり運動」の実施 おいしい食べきり運動ネットワーク協議会による「おいしい食べきり運動」の全国発信 (4) 親子で取り組む生ごみ減量 保育園等での生ごみの水切りグッズ配布				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	2,913		1,456		1,457
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	食品ロス削減に取り組む人の割合（％）	85	86.2	令和7年度
	活動指標	フードロスマイスター認定者数（初級）（人）	250	352	令和7年度
事業評価	目標を上回る86.2%であり、食品ロス削減に取り組む県民の拡大に資することができた。 <事業実績> ・フードロスマイスターの初級認定者 352名（R8年1月末現在） ・全国食べきり共同キャンペーンの実施（10月、12月）				
区分	拡充				

		エネルギー環境部	循環社会推進課（エネ部）	事業年度	令和 8年度
4 住みやすさを高める（地域力）				経費区分	政策的経費
15 豊かで美しいふくい環境の継承				事業開始年度	令和8年度
⑧ ごみ減量化の「自分ごと化」推進事業				事業終了年度	令和12年度
事業目的	県民のごみ減量化への理解を深め「自分ごと」として実践する機会を創出する。				
事業内容	(1) 新聞、SNS広告を通じたごみ減量・再資源化について啓発を実施 (2) 環境アプリ「ふくeco」を活用したごみ減量化実践キャンペーンの実施				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	9,119	—	6,839		2,280
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	1人1日当たりごみ排出量 (g)	794	-	令和12年度
	活動指標	普及啓発活動【新聞広告】(回)	10	-	令和8年度
事業評価	・令和8年度実績は令和10年度に公開 ・福井県廃棄物処理計画において令和12年度の目標値として設定している。				
区分	—				

		エネルギー環境部	循環社会推進課（エネ部）	事業年度	令和 8年度
4 住みやすさを高める（地域力）				経費区分	政策的経費
1 5 豊かで美しいふくいの環境の継承				事業開始年度	令和8年度
⑧ 雑がみリサイクル推進事業				事業終了年度	令和12年度
事業目的	可燃ごみの組成割合の大きい紙ごみの削減を図るため、「雑がみ」等の分別を啓発し、再資源化を促進する。				
事業内容	(1) 雑がみの種類や排出方法を記載した雑がみ袋や雑がみボックスシールの作成・配布 (2) 事業所向けに紙ごみ資源化方法やメリット、委託先（古紙回収業者）を紹介したリーフレット作成。事業者の集まる場などにおいて、リーフレットの説明・配布				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	1,138	—	853		285
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	リサイクル率 (%)	21.0	-	令和12年度
	活動指標	雑がみ袋の配付数 (枚)	3,500	-	令和8年度
事業評価	・令和8年度実績は令和10年度に公開 ・福井県廃棄物処理計画において令和12年度の目標値として設定している。				
区分	—				

		エネルギー環境部	循環社会推進課（工ネ部）	事業年度	令和7年度
4 住みやすさを高める（地域力）				経費区分	政策的経費
15 豊かで美しいふくいの環境の継承				事業開始年度	平成27年度
産業廃棄物減量化・適正処理推進事業				事業終了年度	令和7年度
事業目的	排出事業者団体ごとに再生利用者適正処理を推進するための会議などを開催し、廃棄物の排出抑制、再生利用および適正処理を推進する。				
事業内容	<p>(1) 県産業資源循環推進会議の開催 産業廃棄物を排出する事業者の業界団体、産業廃棄物処理団体および行政を交えた会議を開催し、各業界団体における具体的な課題を共有し、解決を図ることで、排出抑制、再生利用および適正処理を推進</p> <p>(2) 中小規模排出事業者研修会の開催 中小排出事業者に対する適正処理に関する研修を開催</p> <p>(3) 中小規模排出事業者アドバイザーの派遣 具体的な分別や排出抑制の進め方について個別相談を希望する事業者向けに専門家を派遣</p> <p>(4) 多量排出事業者向け研修会の開催 産業廃棄物排出量の約7割を占める多量排出事業者（500t/年以上）の排出抑制や再生利用を推進するための研修会を開催</p>				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	1,071	—			1,071
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	最終処分率 (%)	2	3.3	令和7年度
	活動指標	研修会開催数 (回)	10	10	令和7年度
事業評価	<p>令和7年度の目標（廃棄物処理計画（計画期間：R3～7）で設定）3.3%に対し、令和5年度実績で3.3%と、目標に至っており、廃棄物の排出抑制推進に資することができた。</p> <p><事業実績></p> <ul style="list-style-type: none"> ・多量排出事業者研修会1回 ・中小規模排出事業者研修会6回 ・アドバイザー派遣3回 ・成果指標の最終処分率（3.3%）は、直近（令和5年度）のもの 				
区分	完了				

		エネルギー環境部	循環社会推進課（エネ部）	事業年度	令和7年度
4 住みやすさを高める（地域力）				経費区分	政策的経費
15 豊かで美しいふくいの環境の継承				事業開始年度	平成30年度
廃棄物・リサイクル産業育成支援事業				事業終了年度	令和7年度
事業目的	廃棄物処理業者による地域貢献活動を支援し、廃棄物・リサイクル産業のイメージアップを図る。				
事業内容	(1) リレー見学会 排出事業者やリサイクル施設・製品仕様現場を巡り、廃棄物リサイクル実態を体験 (2) オーダーメイド見学会 住民団体や学校等を対象に見学者が利用しやすいオーダーメイド形式の見学会を実施				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	363	—			363
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	見学会参加人数（人）	80	49	令和7年度
	活動指標	見学施設数（か所）	4	4	令和7年度
事業評価	見学会参加人数49名と未達成であった。 <事業実績> ・廃棄物処理施設等見学会参加人数49人 ・廃棄物処理施設等見学施設数4施設 <事業による要因> ・成果指標について、廃棄物処理施設の見学会を受けることができる事業者が限られており、新趣のコース設定が困難なことから未達成 <外的要因> ・成果指標について、申込者数は72名だったが、当日の悪天候でキャンセルが相次ぎ未達成				
区分	完了				

		エネルギー環境部	循環社会推進課（エネ部）	事業年度	令和7年度
4 住みやすさを高める（地域力）				経費区分	政策的経費
15 豊かで美しいふくいの環境の継承				事業開始年度	令和6年度
ごみ減量に向けた「3切り」「分別」推進事業				事業終了年度	令和7年度
事業目的	ごみ減量に向けては、県と市町が一体となって減量化施策に取り組む必要があることから、ごみ減量施策の実施を市町に働きかけるとともに、県民が減量化に取り組むきっかけとなる広報活動を実施する。				
事業内容	(1) 県民向けの広報活動の実施 3きり運動（水切り・食べきり・使い切り）の普及促進やごみの分別について周知 (2) 市町への働きかけ ごみ処理費の増加やCO2排出量を示し、市町に危機感を促して減量化を訴求				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	14,310	—	10,732		3,578
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	1人1日当たりごみ排出量 (g)	858	-	令和7年度
	活動指標	啓発動画放送数 (回)	180	200	令和7年度
事業評価	令和7年度の目標（廃棄物処理計画（計画期間：R3～7）で設定）858gに対し、令和5年度実績で830gと、目標より好成績であり、廃棄物の減量化に資することができた。 ※令和7年度実績は令和9年度に公表 <事業実績> ・テレビCM、Web・SNS広告、シネアド配信、大型ビジョン・サイネージ広告、新聞広告、ポスター掲示等				
区分	完了				

		エネルギー環境部	循環社会推進課（エネ部）	事業年度	令和7年度
4 住みやすさを高める（地域力）				経費区分	政策的経費
15 豊かで美しいふくいの環境の継承				事業開始年度	令和1年度
プラスチックごみ削減対策事業				事業終了年度	令和7年度
事業目的	海洋へのプラスチック流出を防止するとともに、プラスチック廃棄物全体量の削減、持続可能な回収・再生利用を促進する。				
事業内容	(1) プラスチック代替製品利用促進事業 (2) マイボトル運動の推進 (3) 家庭で使い捨てプラスチックを極力使わない生活の推進 (4) プラスチックごみのポイ捨て防止の推進				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	3,751	—	853		285
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	マイボトル持参率（％）	80	67.2	令和7年度
	活動指標	マイボトル運動推進サポーター登録数（人）	180	136	令和7年度
事業評価	<事業実績> ・マイボトル運動推進サポーター登録数：136団体（R8年1月末時点） <事業による要因> ・成果指標について、ペットボトルの使用は行わないものの、カップ等の利用者が一定数いることから未達成 ・活動指標について、環境への関心が高い企業が既に登録していることから、登録数が増えずに未達成				
区分	完了				